

関東民放クラブだより

静岡

「新年会と歴史探訪で今川年 始動！」 小澤千津子(SBS)

平成最後の1月29日、静岡支部恒例の新年会が市内の「ターミナルホテル・アソシア」で開かれました。32人の参加申し込みがありました。折から、インフルエンザ流行の折から、当日の参加は27人となりました。それでも、胃袋はまだまだ若い会員たちですから、食べ放題のバイキング形式で大いに飲み食べ話し、盛り上がりました。



静岡支部恒例の新年会

曾根代表から「会員を増やし、新たなことにチャレンジしたい」との挨拶、そして、最高齢92歳の松田さんの乾杯で始まり、ホテル

側としてデモンストレーションの

ローストビーフが人気を呼んだのは、さすが肝いりのメニューでした。久しぶりの顔ぶれも多く、自己紹介を兼ねてのひと言挨拶は、人生長く生きている証で、話のタネも尽きず、前・後半に分けるほどになりました。あつという間には過ぎ、ワイン争奪のジャンケン大会は童心に返り夢中の大声が飛び交い、2時間を大幅に過ぎて首尾よくワインをゲットした人もそうでない人も、楽しんだ時間と仲間の笑顔を中心に刻み帰路につきました。

飲食で幕開けとなった静岡支部でしたが、今年は今川義元公の生誕五〇〇年を記念する行事が目白押しの中で、民放クラブとしての教養を深めようということになりました。折しも、駿府城公園の天守台跡の発掘に新発見が加わり、大きなニュースになって、ちよつとした歴史ブームが起きています。

当クラブで今川、徳川などの故事来歴に造詣の深い松野輝洋さんを講師に2月7日、「歴史ウォー

ク『今川さん』ゆかりの史跡を訪ねる」と題し、焼津・藤枝方面の四城址、二寺などを訪れました。幸い前日の雨が上がり、気温17度と天気も味方してくれました。

地元に住んでいながら知らないことがいかに多いかに気付かされましたが、受け売りの知識をここで披露するスペースがないのが残念。今後、回を重ねることのできる紙面でご紹介の機会もあることを期待します。

ご興味のある方はご参加を歓迎します。ことのついでに静岡の美味しい食材と日本酒もお楽しみいただければ幸いです。ご紹介しているこの日もやはり、飲食と笑顔が締めでした。

新潟

艶やかな鬼も登場！節分祭

山田俊明(NST)

新潟支部恒例の節分祭が2月3日に開かれました。今年も巡り合わせで日曜日の開催となりました。今年も関わらず、22人が集まりました。今年の鬼は、年男のNST元会長村山稔さん、支部長の樋浦さん。更に2人を先導する紅一点。伝統の新潟古町芸妓をほうふつとさせ

る艶やかな鬼も登場しました。



樋浦支部長も一緒に鬼の舞

鬼を務めたのは新潟放送出身の平井葉子さん。この日の為に髪を伸ばして、きっちり結び上げ、挑んだそうです。

支部の唱和は「福は内 鬼も内」。昔、節分の日に土間で震えて隠れていた鬼に「福は内、鬼も内」と豆をまいて慈悲を施したところ、その年、鬼が恩返しに田植えや稲刈りなどを手伝って、大豊作になったという故事を今に伝えている。佐渡の節分祭に倣ったものです。新潟の踊りの流派、市山流の舞もたしなむという優美な着物姿で、今年の鬼の恩返しは、田に出るまでも無く、座敷の中で華やかに果たされました。